

令和5年度

第92回全国民生委員児童委員大会（広島大会）

活動交流集会 資料

## 【活動交流集会1】

高齢者が安心して暮らし続けることができる  
地域づくり

令和5年11月22日（水）

全国民生委員児童委員連合会



---

---

## 【活動交流集会 1】

# 高齢者が安心して暮らし続けることができる 地域づくり

---

---

## ねらい

近年増加している独居世帯の高齢者等、社会的孤立状態にある高齢者への支援の充実が求められています。

本集会では、関係機関と連携した買い物支援、見守り、配食活動を通じた地域づくり等の具体的な取り組みを紹介しながら、高齢者を取り巻く地域課題とその対応に向けて、民生委員・児童委員、民児協としてできる今後の取り組みを考えます。

■コーディネーター    わた   なべ   ゆう   いち   (武蔵野大学 人間科学部社会福祉学科 教授)  
渡   辺   裕   一

■事例発表者    たか   の   のり   お   (山形県 山形県民生委員児童委員協議会 会長)  
高   野   則   夫

ほり   もと   みつ   ひさ   (岡山市 岡山市操明地区  
民生委員児童委員協議会 会長)  
堀   本   光   久

わき   もと   さつ   え   (広島県 江田島市江田島地区  
民生委員児童委員協議会 会長)  
脇   本   茜   枝

■運営責任者    い   とう   あつ   し   (全国民生委員児童委員連合会 理事)  
伊   藤   篤   志

■運営幹事    ふる   え   ゆ   き   え   (広島県民生委員児童委員協議会 副会長  
／呉市民生委員児童委員協議会 会長)  
古   江   由   紀   枝

■司会進行    まえ   かわ   み   の   る   (広島県民生委員児童委員協議会 理事  
／北広島町民生委員児童委員協議会 会長)  
前   川   実

※敬称略

※写真に写る人物には発表者等を通じて掲載の了承を得ました

高齢者が安心して暮らし続けることができる地域づくり

武蔵野大学 人間科学部社会福祉学科  
教授 渡辺 裕一

---

# 「高齢者が安心して暮らし続けることができる 地域づくり」

渡辺裕一（武蔵野大学）  
令和5年度第92回全国民生委員児童委員大会（広島大会）  
活動交流集会I

世界の幸せをカタチにする。  
Creating Peace & Happiness for the World



## 【自己紹介】

武蔵野大学人間科学部社会福祉学科／高齢者福祉とソーシャルワーク／社会福祉士（ソーシャルワーカー）の養成／自分自身も、社会福祉士（ソーシャルワーカー）／どうすれば、地域住民の地域課題解決の力は高まるのか？＝地域住民のエンパワメント／地域住民のパワーが高まれば、その地域で高齢者は幸せに生きられるのか？／人々は暮らしたい地域（場所）でいつまでも安心・安全に生きられるのか？

世界の幸せをカタチにする。  
Creating Peace & Happiness for the World



## 本集会のねらい

- 近年増加している独居世帯の高齢者等、社会的孤立状態にある高齢者への支援の充実が求められている。
- 本集会では、関係機関と連携した 買い物支援、見守り、配食活動を通じた地域づくり等の具体的な取り組みを紹介しながら、高齢者を取り巻く地域課題とその対応に向けて、民生委員・児童委員、民児協としてできる今後の取り組みを考える。

## 民生委員・児童委員、民児協は・・・

- 高齢者が安心して暮らすことができる地域づくりに向けて

どのような役割を担う？

民生委員・児童委員、民児協は・・・

- 例えば、地域特性に応じた地域ぐるみの高齢者見守り、支え合う仕組みづくりなど・・・

何をすべき？

「安心して暮らし続けること」を妨げるもの

自分らしく生きるのを妨げる  
人生のリスクがあること

- リスクは、たくさんある。例えば・・・

|        |        |       |
|--------|--------|-------|
| 病気になる  | ケガをする  |       |
| 災害にあう  | 事故にあう  | 公害にあう |
| 戦争が起きる | 年齢を重ねる |       |
| 仕事を失う  | 家族を亡くす |       |

## 民生委員・児童委員は

- 社会奉仕の精神を持って、常に住民の立場に立つて相談に応じ、及び必要な援助を行い、もって社会福祉の増進に努める（民生委員法第一条）
- 民生委員の職務（第十四条）
  - 一 住民の生活状態を必要に応じ適切に把握しておくこと。
  - 二 援助を必要とする者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように生活に関する相談に応じ、助言その他の援助を行うこと。
  - 三 援助を必要とする者が福祉サービスを適切に利用するために必要な情報の提供その他の援助を行うこと。
  - 四 社会福祉を目的とする事業を営営する者又は社会福祉に関する活動を行う者と密接に連携し、その事業又は活動を支援すること。
  - 五 社会福祉法に定める福祉に関する事務所（以下「福祉事務所」という。）その他の関係行政機関の業務に協力すること。
- 2 民生委員は、前項の職務を行うほか、必要に応じて、住民の福祉の増進を図るための活動を行う。



## 民生委員児童委員信条

- わたくしたちは隣人愛をもって社会福祉の増進に努めます
- わたくしたちは常に地域社会の実情を把握することに努めます
- わたくしたちは誠意をもってあらゆる生活上の相談に応じ自立の援助に努めます
- わたくしたちはすべての人々と協力し明朗で健全な地域社会づくりに努めます
- わたくしたちは常に公正を旨とし人格と識見の向上に努めます



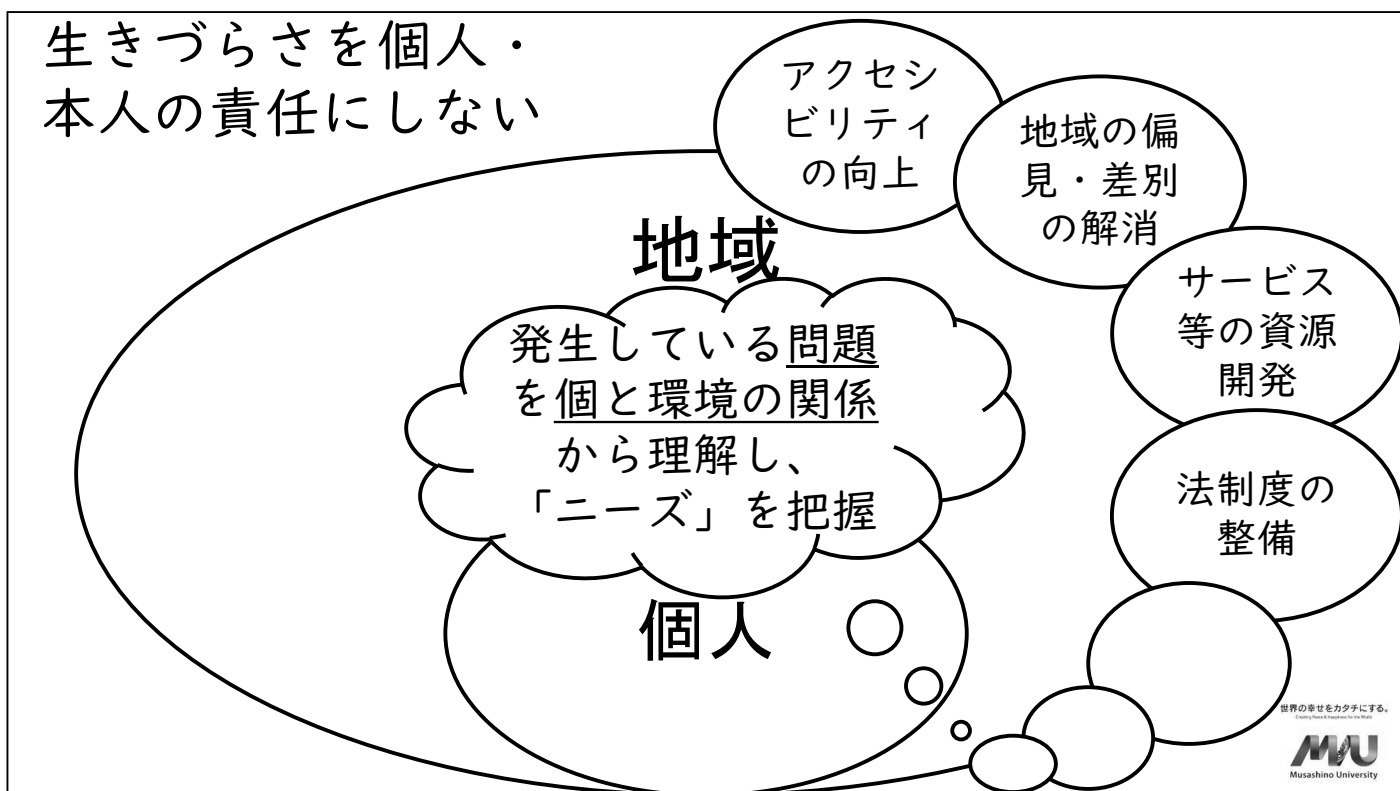
## ①「地域で何が起こっているか知る」役割

- 様々な機会を活用して、いろいろな方からお話を聴く。
- 地域の様子を観察する。
- 地域で起きていることを「教えてもらう」
- どこに、どのような「生きづらさ」がある？
- 問題などについて、いきなり解決しようとしたり、答えを出そうとしない（できない）。まず聴く。
- 誰かを悪者にしたり、排除しようとしたりしない。

## 地域にある「生きづらさ」

- 「生きづらさ」は他者から見えづらい。
- なぜなら、多くの人が「困っている」ことを人に知られたくないから。
- 自分は大丈夫だと思いたい、認めたくない、隠したいから。
- 「恥ずかしい」「意味がない（あきらめ）」  
「信頼できない」「怒り」「過信」

「SOSを出す」「相談する」「発見する」には高いハードルがある。



### 例 1) 3階に行けない・・・

- 「自分は、3階の教室に行かなければいけません。でも、行けなくて、困っています」

本人の責任にせず、本人と本人を取り巻く環境（学校？校舎？など）との関係で問題をとらえると何が見えるか？

## 例2) すごい量のごみ・・・

- 「すごい量のごみが隣の家の中にたまっている様子。ひどいにおいもする。もう我慢できない」

ごみをためた本人の責任にせず、  
本人と本人を取り巻く環境（地域  
など）との関係で問題をとらえる  
と何が見えるか？

## 例3) 家から出たくない・・・

- 「家から出たくない、なぜなら家の外は危険がいっぱいだから」

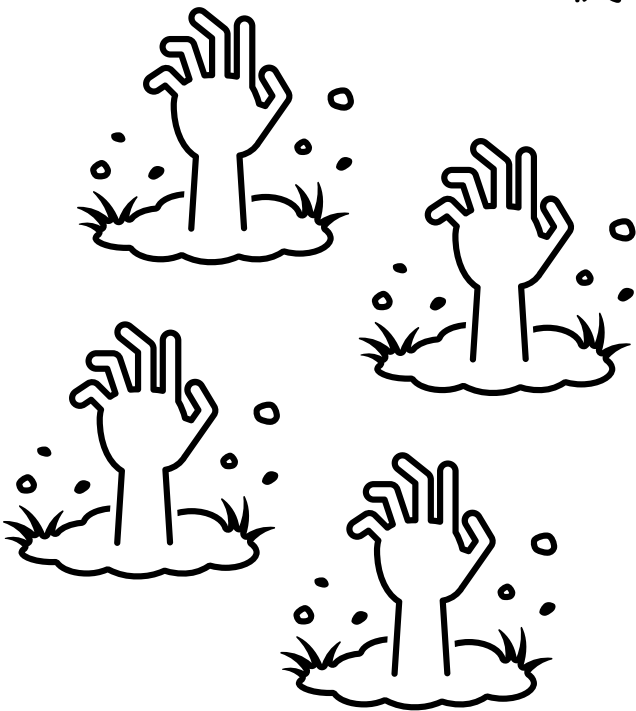
単に本人の責任にせず、本人が本人を取り巻く環境（地域など）を  
どうとらえているか、理解して問題をとらえると何が見えるか？  
そして、生きるために何が必要？

## 例え話①



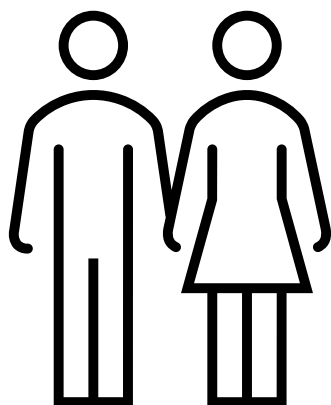
あるカップルが川の下流で釣りをしていると、川の上流からおぼれた人が流れてきた。苦しんでいる人を放っておけず、助け出して、手当てをして、救急車を呼んで病院に送り、家族にも連絡を取った。

## 例え話②



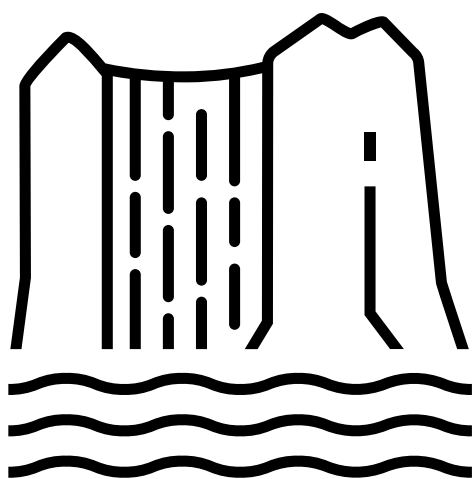
しかし、おぼれた人たちが、どんどん上流から流れてくる。カップルは疲れ果ててしまう。

### 例え話③



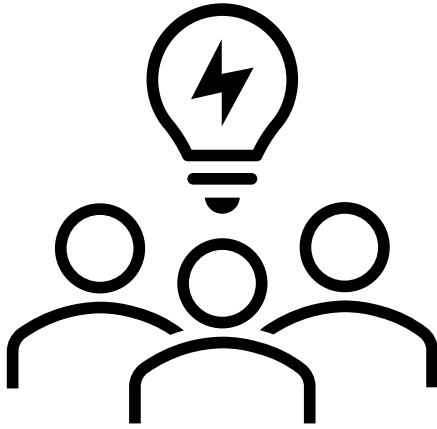
カップルは何が原因で  
こんなにおぼれる人がい  
るのか上流を見に行くと・・・

### 例え話④



見晴らしのいい展望台  
で、看板も柵もない滑り  
やすい崖だった。だから  
人が落ちておぼれたと気  
づく。

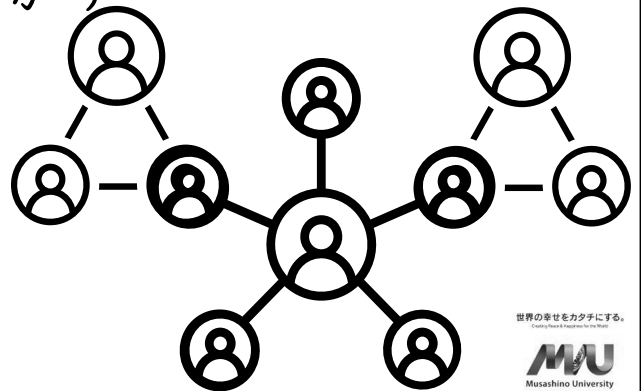
## 例え話⑤



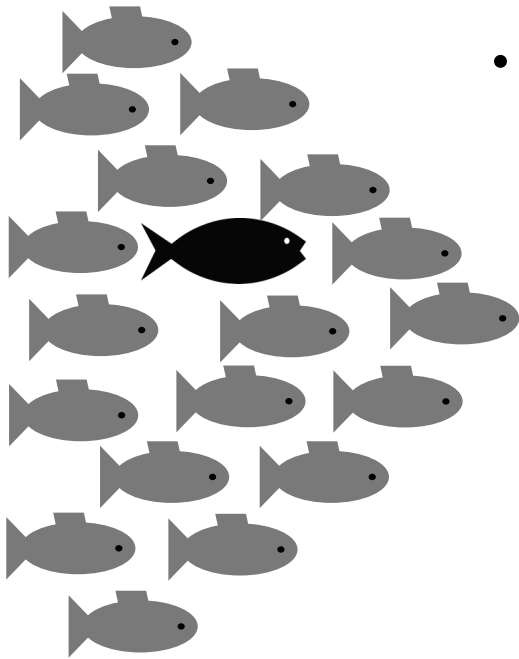
カップルは、このコミュニティのリーダーを探し、事情を説明して、データや証拠を伝え、そして、注意を促す看板や柵を設置するようお願いする。下流には、見張りやライフガードを配置するようにお願いした。

## ②同時に「多様なつながりをつくる」

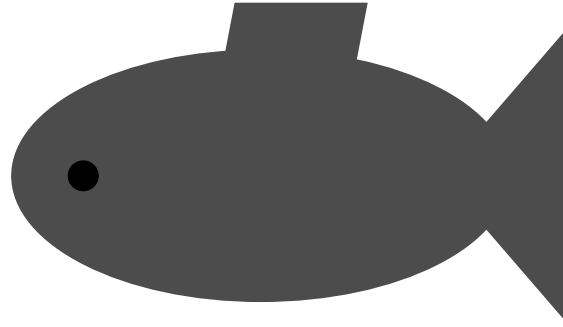
- 地域の人、人々とのつながり
- 地域の組織・団体とのつながり
- 民生委員・児童委員同士のつながり
- 行政や様々な機関とのつながり



## 組織化によって変化に必要なパワーを生み出す



- 変化を必要としている人たちが自身が、変化を起こすために必要なパワーを作り出すため



### ③ 「つながり」と一緒に考え、協力して取り組む

- 「つながり」は「地域で何が起きているか」を教えてくれる。
- 「つながり」に「見たこと」「気づいたこと」「聴いたこと」をつなげていく。
- 「つながり」は「地域で起きている問題を解決する」ために必要な力になる。
- 「つながり」があれば「支え合い」「助け合い」ができる。

## 具体例① 地域のサロン活動に出かけてみる

- 地域には、様々な年代やつながりの人の集まりを主催している人がいる。
- 公民館、集会所、カフェ、自宅・・・



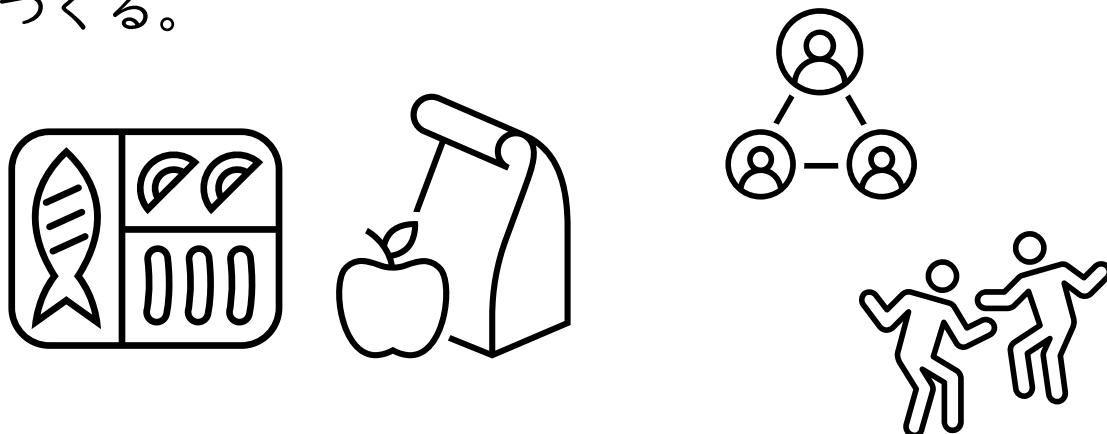
## 具体例② 見守り訪問活動に出かけてみる

- ひとり暮らし高齢者、高齢夫婦世帯、高齢の親と未婚の子の世帯、子育て世帯・・・
- すべての世帯に定期的に訪問する必要があるか？
- なぜか「来るな」といわれることもあるという理不尽。



### 具体例③ 配食サービス活動に協力してみる

- 「お弁当配達」「見守り」だけが目的ではない。
- お互いのつながりをつくる、孤立しない社会をつくる。



### 具体例④ 新しい取り組みを考える

- 地域で起きている問題を解決したり、軽減したりするために、「何か新しいこと」を考える。
- 「ひとり」ではなく、「つながり」のある民生委員・児童委員、自治会町内会、組織・団体や社会福祉協議会、地域包括支援センター、その他の専門機関と一緒に考える。

## 具体例⑤ 地域の中の最も身近な相談役になる

- 民生委員・児童委員は、「問題を解決してくれる人」ではなく、「問題や生きづらさを聴いてくれる人」と認識してもらう。
- 見たこと、気づいたこと、聴いたことを、必要な関係機関につなげていく。

④解決できないこと、答えが出ないこともたくさんある。かかわり続ける。引き継ぐ。

- どんなに力がある民生委員・児童委員でも、専門職でも、解決できない・答えが出ないこともたくさんある。
- 「つながり」の力も万能ではない。
- それでも、かかわり続ける。そして、引き継ぐ。

## それでも、あきらめない

- 「100%発見できる」はあり得ない。
- 民生委員・児童委員が地域の「生きづらさ」を発見したケースはたくさんある。
- 行政や専門機関と共に「生きづらさ」の解決や軽減に向けて取り組んでいるケースもたくさんある。
- 一つひとつの取り組みが、「誰もがともに暮らし続けられる社会」の実現につながっている。

## 「ボランティア」「自分にはできないよ・・・」

- 「こんなにたくさん役割を期待されているの？」
- 「どれもとても大切そうだけど、自分ができるか自信がないよ」
- 「私たちは、地域のことは知っていることも多いけれど、社会福祉の専門家ではない」
- 「それで、結局、何をどうすればいいの？」

「動けない・・・」

# 事例発表

世界の幸せをカタチにする。  
Creating Peace & Happiness for the World



## 事例から具体的に考えてみる

- 地域の見守り活動、社協等関係団体の諸行事への協力（サロン活動、配食サービス等）、研修会の内容、独自の活動、活動強化週間等への取り組み 等

「動けない・・・」  
→ 「やってみよう」

## 発表者の紹介

事例①山形県民生委員児童委員協議会  
「山形市高瀬地区買い物支援事業」

事例②岡山市操明地区民生委員児童委員協議会  
「高齢者が生きがいを持って安心して暮らせる地域づくり」

事例③広島県江田島市江田島地区民生委員児童委員協議会  
「老人給食を通して高齢者との絆づくり～孤立を防ぐ～」

## 質疑応答等

## まとめ

- ご参加ありがとうございました。

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dashed lines.

---

---

【活動交流集会 1】事例発表者

山形市高瀬地区買い物支援事業

山形県 山形県民生委員児童委員協議会  
会長 高野 則夫

---

---

# 山形市高瀬地区 買い物支援事業

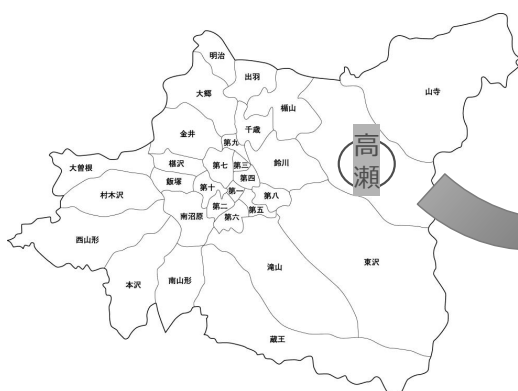
## 山形市の概要 (令和5年4月1日現在)

- ・人口 238,862人
- ・世帯数 105,348世帯
- ・高齢化率 30.7%
- ・町内会数 548町内
- ・地区30地区（全地区に地区社協あり）
- ・民生委員・児童委員定数499人（主任児童委員含む）
- ・相談支援関連機関等  
（基幹型地域包括支援センター 1か所、地域包括支援センター 14か所、  
障がい者相談支援センター 6か所、成年後見センター 1か所、  
生活困窮者自立相談支援 1か所）
- ・学校 小学校37校、中学校16校、高等学校14校

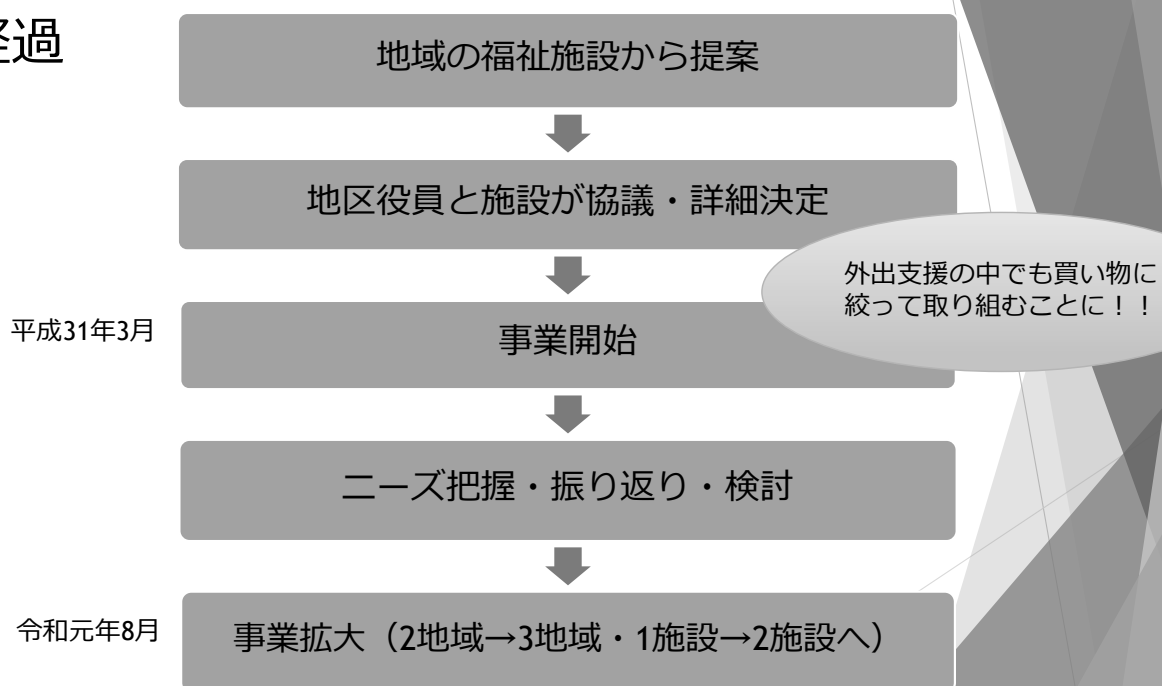


## 高瀬地区

|         |         |
|---------|---------|
| 人口      | 3,159人  |
| 世帯数     | 1,381世帯 |
| 65歳以上人口 | 1,353人  |
| 高齢化率    | 42.8%   |



## 経過



## 経過

### コロナ禍での取り組み

#### ▶ 令和2年12月からコロナ禍等の理由で事業休止

- 福祉施設へ事業再開の提案
- 民生委員・児童委員、福祉施設、包括、生活支援コーディネーターで協議
- 地区役員との協議
- 地区住民への声かけ、利用者の調整

令和4年4月 事業再開



## 取り組みの概要

- ▶ 毎月第2、3、4火曜日AM
- ▶ 地区内2つの福祉施設が協力
- ▶ 現在、施設は基本的に送迎をメインに実施
- ▶ それぞれ異なる地域が対象、施設も担当制
- ▶ 各回、3～4名程度が利用
- ▶ 原則、利用者自宅までの行き帰りの送迎
- ▶ 民生委員・児童委員が毎回利用者を選定、把握



## 取り組みの概要

- ▶ 原則、冬期間（12月～2月頃）は休止  
※昨年度は実施方法を工夫し試験的に実施
- ▶ 天候やコロナの状況等に変化がある場合はその都度、連絡を取り実施可否の判断をしている
- ▶ ボランティア行事用保険に加入



## 取り組みの概要

利用対象者の要件

地区住民

70歳以上

身体的に自立

判断能力がある

支援が必要な方に支援が届くように  
民生委員・児童委員が変わっても判断に迷わないように  
事業が安定して継続していくように設定

## 民生委員・児童委員の関わり

### 利用者選定・把握

- 参加者への声がけ、把握

### 当日の参加・見守り

- 送迎車への添乗、現地での見守り

### 会議・打合せ

- 定期的な振り返り、協議事項の検討、実施可否の検討

---

---

【活動交流集会 1】事例発表者

高齢者が生きがいを持って安心して暮らせる地域づくり

岡山市 岡山市操明地区民生委員児童委員協議会  
会長 堀本 光久

---

---

# 高齢者が生きがいを持って 安心して暮らせる地域づくり

岡山市民生委員児童委員協議会  
操明地区民生委員児童委員協議会  
会長 堀本 光久

## 操明学区の概要 ※令和5年6月現在

- 岡山市の中でも南に位置している
- 人口：9,083人（うち65才以上1,895人）
- 世帯数：4,080世帯
- 高齢化率：20.9%
- 民生委員・児童委員11名、主任児童委員2名  
委員充足率は28年前の学区開設以来100%で推移

## 操明福祉委員会の立ち上げ経緯

- ・平成28年、岡山市社会福祉協議会が学区の福祉課題には地域住民自らが取り組んでいく「小地域福祉活動」の推進を提案
  - ・操明学区の民児協、地区社協、自主防災会の各会長と地域福祉活動の有識者が検討会を実施
- ⇒民児協・地区社協・自主防災会の3者から構成される「操明福祉委員会」を立ち上げた

## 操明福祉委員会の役割

- 民児協・地区社協・自主防災会の3者が
- ・それぞれの活動内容と携わるメンバーをお互いが理解・協力
  - ・個人情報保護法を遵守しつつ各種情報を共有
- ⇒学区の福祉課題に取り組む

## 操明福祉委員会の活動内容

### 【住民へのアンケート結果から防災対策を推進】

操明地区の概要は下記のとおり

#### ■広さ約2km四方

江戸時代初期から岡山藩により県南一帯で大規模に開発された干拓地  
学区内には縦横に用水路が張り巡らされている

#### ■東西は大きな川、南は瀬戸内海に囲まれているため洪水、地震、津波による災害が予想される

#### ■1946年の昭和南海地震では、多数の家屋が倒壊して死者がでるなどの被害が発生

**防災対策は非常に重要！**

**高齢者対策が主眼**

## 高齢者が安心して暮らせるための防災対策

### ① 災害時個別支援計画の作成

民生委員・児童委員が計画の趣旨説明書と個別支援申込書を持って75才以上の住民への個別訪問を実施

支援申込書には申込者の個人情報と説明福祉委員会内で共有することを了承する旨の署名欄を設けた

結果

180人を超える支援申込者あり

自主防災会と町内会で支援者の選定を進めている

### ② オリジナル福祉マップの作成・活用

要援護者、1人暮らし高齢者、高齢者のみの居宅などが関係者にはひと目で分かる住宅地図を作成し、その地図に避難場所や避難経路を加えたものを配布先や用途別に情報を加工して活用

〈活用例〉

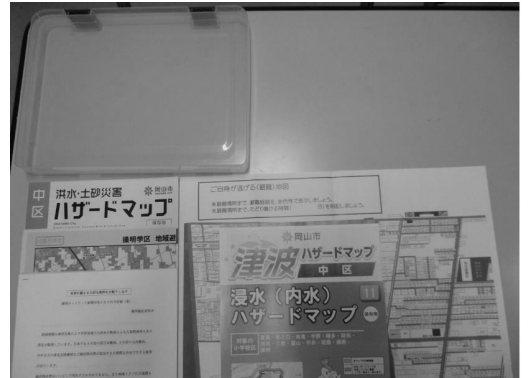
地区社協が開催する敬老会がコロナ禍で中止になった際の記念品配布

災害時の安否確認や情報伝達などにも役立つ！



### ③ 災害時の自助のためのクリアケースの配布

- ・「自分と家族の命は自分自身で守る」備えの呼びかけ
- ・自助に役立つ「ひなんのしおり」やハザードマップ、当面必要な薬などをまとめて保管するためのクリアケースをすべての町内会加入家庭に配布し、定期的な保管状況のチェックを操明福祉委員会3団体で適宜実施



### ④ 地域の高齢者のリスト作成・活用

- ・地区社協が中心となって主催する敬老会のリスト作りを民児協が担当  
リスト作りには本人または家族の同意を得ることを徹底
- ・リストは地区社協が行う1人暮らし高齢者ふれあい給食配布にも役立てる
- ・年2回の合同情報交換会を開催して、民生委員・児童委員が日頃の訪問活動で得られた情報も加えた最新情報を委員会内部で共有し、あわせて福祉マップの更新も行う

### ⑤ あんしんカプセルおかやまの配布

1人暮らし高齢者や高齢者のみの家庭に  
民児協と地区社協は

あんしんカプセルおかやまを

配布しています



カプセルの中には緊急連絡先や既往症を記載した  
「あんしんカード」を入れ、緊急時（救急車が  
来た時など）に活用

## 取り組みの効果

民児協・地区社協・自主防災会の3者が各種情報の共有を行うことで

- 災害時個別支援計画の作成
- オリジナル福祉マップの作成・活用
- 災害時の自助のためのクリアケースの配布
- 地域の高齢者のリスト作成・活用
- あんしんカプセルおかやまの配布

等、防災対策に必要な活動をスムーズに行うことができた

⇒3者の連携により、高齢者が安心して暮らせるための地域づくりが着実に進む

## これからの課題

交通の便が良い

多くの診療科目をもつ病院がある

操明学区は生活の利便性が高い地域

高齢者が利用できる施設が数多くある

⇒しかし...

- ・多くの高齢者は自宅を中心とした狭い生活圏で暮らしているため、情報不足から孤立感を感じている高齢者が多い
- ・特に、スマホなどを活用した情報発信や各種サービスにアクセスできない高齢者には情報が行き届き難くなっている

今後は高齢者へのさまざまな双方向の情報発信やボランティア活動の紹介など、高齢者が生きがいを持って自己実現できる場作りに力を注いでいく活動をめざします！



老人給食を通して高齢者との絆づくり～孤立を防ぐ～

広島県 江田島市江田島地区民生委員児童委員協議会  
会長 脇本 茜枝

---

令和5年度 第92回全国民生委員児童委員大会（広島大会）

活動交流集会 ①「高齢者が安心して暮らし続けることができる地域づくり」

## 「老人給食を通して 高齢者との絆づくり～孤立を防ぐ～」

江田島市江田島地区民生委員児童委員協議会

会長 脇本 苗枝  
わきもと さつえ



## 広島県 江田島市

広島市

### 基礎データ

- 構成：江田島町・能美町・沖美町・大柿町の4町
- 人口：20,955人（高齢化率：45.7%）  
民生委員・児童委員：定数103人  
（うち主任児童委員8人）  
男性32人 女性58人（欠員13人）

### 特 徴

- 都市部へのアクセスが容易
- 大小10の島から成る多島美
- 温暖で雨の少ない気候
- 移住者による資源開発

E TA JIMA  
恵み多き島



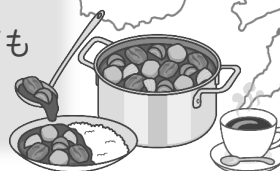
## 江田島市江田島町について

### 概要

- 人口：7,162人（うち後期高齢者：1,995人）
- 地区：13地区（うち老人給食実施：10地区）
- 特徴：北は広島市、東は呉市に面する島の東の玄関口

明治21年、東京築地から海軍兵学校が移転し、現在は海上自衛隊第1術科学校及び幹部候補生学校となっている。

- 6地区は手作り弁当、4地区は業者の弁当による老人給食を実施。
- 1地区は老人給食だけでなく、女性会が独自に月1回のカレー会を実施。
- カレー会は高齢者に限らず、地元住民なら誰でも1食400円でカレーとコーヒーをいただける。



## 江田島町小用地区老人給食の軌跡

平成2年  
(1990年)

当時ある民生委員・児童委員が担当地区の高齢者の食事を心配し個人的にお弁当を買って届ける。

平成4年  
(1992年)

地区社協から補助金が支給されるようになる。



平成12年  
(2000年)

食生活改善推進員会の講習を受けた女性会のメンバーが加わり、約30人分のお弁当を手作りして配り始める。

平成16年  
(2004年)

4年間で対象者が約60人と2倍に増える。

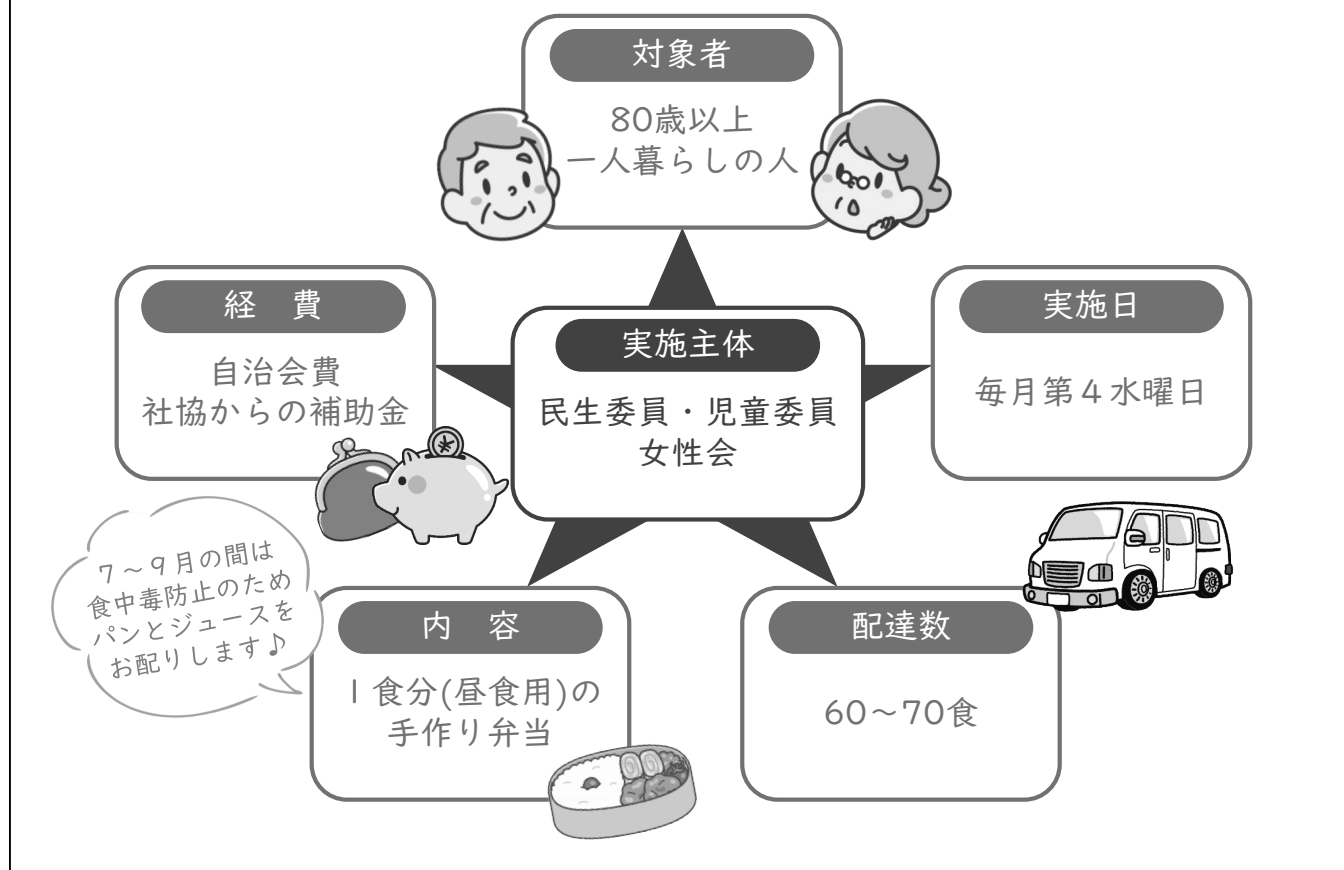
令和5年  
(2023年)

毎月、手作りのお弁当（7～9月除く）を配達している。

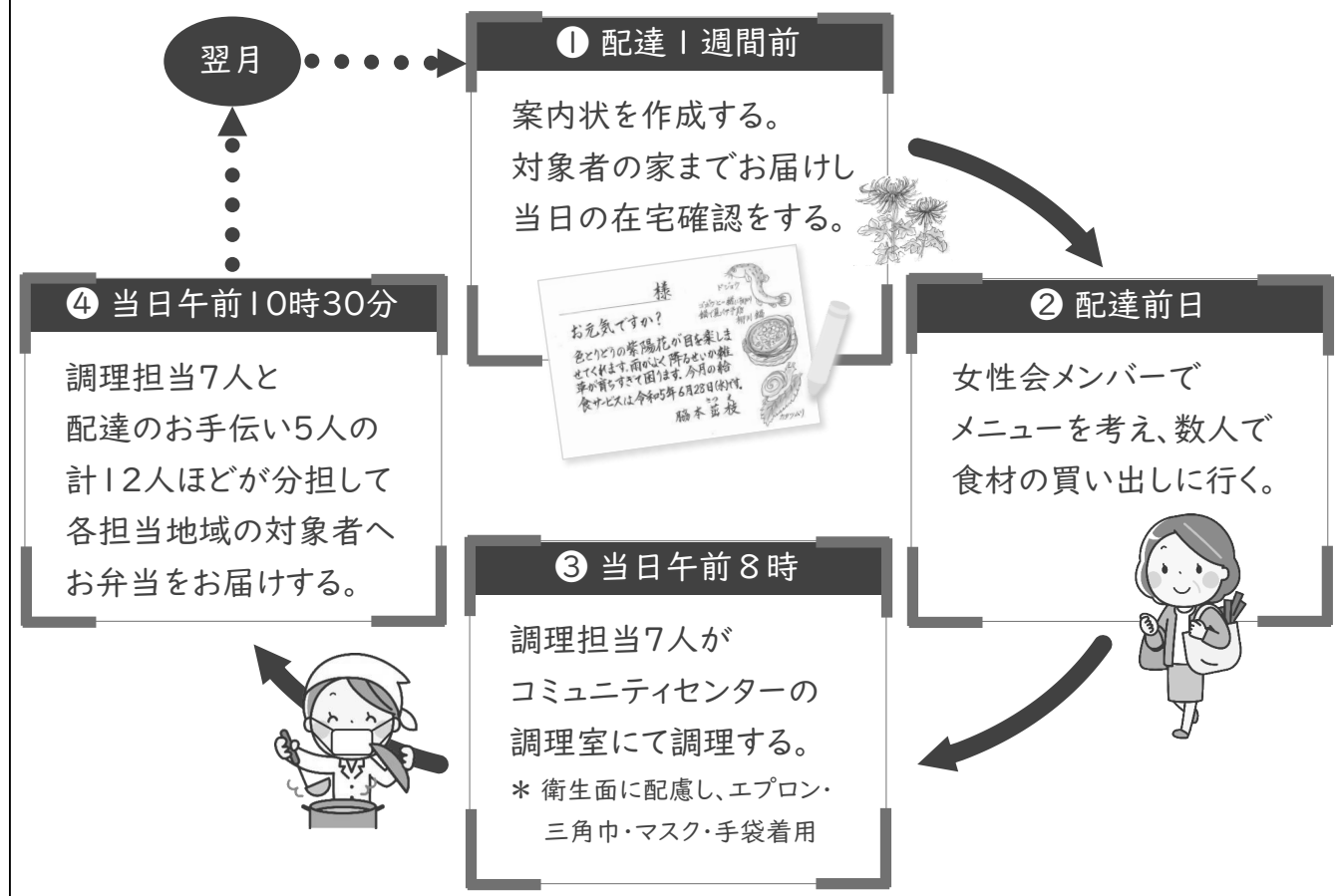




## 老人給食の実施方法・内容



## 準備から配達まで





## 老人給食の目的

**当初** 一人暮らし高齢者の栄養の偏りの解消

～30年以上継続～

栄養補助だけでなく

**安否確認**

**一人暮らし高齢者との交流**

という新たな目的が生まれる。



## 老人給食による成果

### 対象者の声

給食の日が楽しみで、当日は玄関のドアや門を少し開けて待っている。

電話をかける機会や会う機会があればお礼を伝えるようにしている。



### 民生委員・児童委員の声

ありがとうと言ってもらえるのが嬉しい。

心配事相談を受けて助言したり、地域の相談窓口の情報提供することがある。

難聴の方に町内放送の内容を伝えたり、市広報について説明したりする機会になっている。

老人給食があることで安否確認ができている。



長く継続してきたことで  
互いに顔見知りとなり信頼関係が生まれた。



## 老人給食継続におけた今後の課題

### 新たな担い手の確保

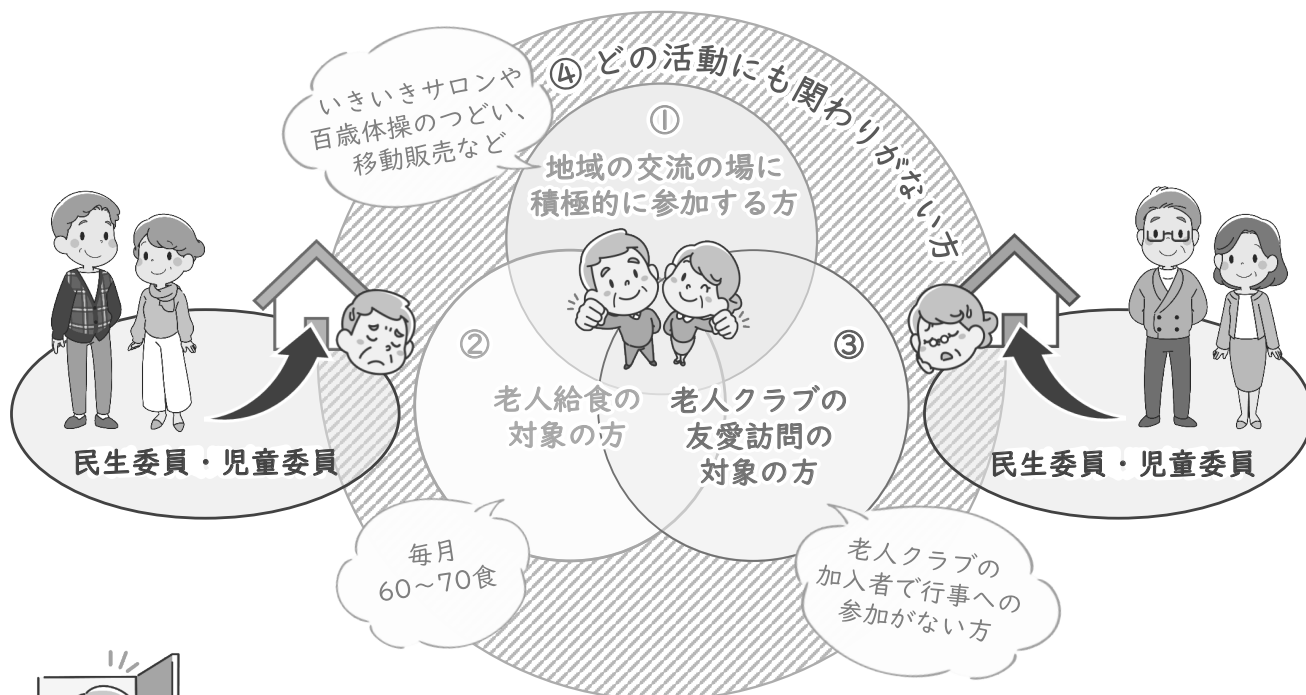
【現在の担い手】

小用地区の民生委員・児童  
委員(4人)地区女性会

高齢化  
&  
若年層の参入  
が少ない



## 民生委員・児童委員としてできること



①②③のどの活動にも関わりがない④の方への訪問活動を行い孤立化の予防に努めていく。





